**安全データシート**
製品名:Fixmaster メタルマジックスチール 113g
作成日14.03.2014
発行日 14.03.2014
管理番号： 153766 V001.0

## 1． 化学物質等及び会社情報

**製品コード：** 366935
**製品名:** Fixmaster メタルマジックスチール 113g

**会社名：**
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲　14F
140-0002

電話番号： +81 (45) 758-1820
FAX番号： +81 (45) 758-1826

## 2． 危険有害性の要約

GHS分類 ：

| 危険有害性クラス | 危険有害性区分 | ばく露経路 | 標的臓器 |
|---|---|---|---|
| 皮膚腐食性・刺激性 | 区分2 | | |
| 眼損傷性/刺激性 | 区分2 | | |
| 皮膚感作性 | 区分1 | | |
| 発がん性 | 区分1 | | |
| 水生環境有害性(急性) | 区分2 | | |
| 水生環境有害性(長期間) | 区分2 | | |

記載のない項目については、分類対象外または区分外/分類できない。

**GHSラベル要素:**
**絵表示:**

**注意喚起語:** 危険

**危険有害性情報:**
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれ。
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

**使用上の注意:**

**安全対策**
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後は良く洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

**応急措置:**
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

**保管:**
施錠して保管すること。

**廃棄:**
廃棄物や残渣は地方自治体の要求にしたがって廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

## 3. 組成、成分情報

**危険有害成分及び濃度**

| 成分 | wt% |
|---|---|
| タルク | 30 - 40 % |
| 鉄 | 10 - 20 % |
| ビスフェノールA型エポキシ樹脂 | 10 - 20 % |
| ガラス繊維 | 10 - 20 % |
| 硬化剤 | 1 - 10 % |
| アルミノケイ酸塩 | 1 - 10 % |
| 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール | 1 - 10 % |
| ジメチルシロキサン変性シリカ | 1 - 10 % |
| シリカ(石英) | 0,1 - 1 % |

## 4. 応急処置

**皮膚にかかった場合：**
直ちに多量の水で（可能であれば石けんと）洗うこと
汚染された衣類や靴を脱ぐこと
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。
再使用する場合には洗濯をすること
再利用の前に靴をよく洗浄する事。

**眼に入った場合：**
直ちに多量の水で最低でも15分間眼を洗うこと。
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

**飲み込んだ場合：**
無理に吐かせないこと
意識の無い場合口から何も与えてはならない
医師の診察を受けること

**吸入した場合：** 空気の新鮮な場所へ移動させること
呼吸が困難な場合、酸素を与えること。
呼吸をしていない場合は、人工呼吸をする
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

## ５．火災時の措置

**消火剤：** 水スプレー（霧）、泡、乾燥化学物質または二酸化炭素。

**火災時の分解物質:** 炭素酸化物
硫黄酸化物
ハロゲン化化合物
金属酸化物ヒューム

**保護具:** 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

## ６．漏出時の措置

**環境に対する注意事項** 製品が下水または排水溝に入らないようにすること。

**除去方法:** 十分な換気を保つこと。
適切な個人用保護具を着用すること。
除去作業を行う時は、第８項の暴露防止及び保護措置を参照すること。
漏えい物はすくい取り、廃棄のために容器に密閉しておくこと。

## ７．取扱い及び保管上の注意

**取扱い** 眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。使用後はよく洗うこと。
十分に吸引すること。
容器は密閉しておくこと

**保管:** 涼しく、良く換気のされた場所に保管する。
最適な棚寿命を保つために、元の容器で 2 - 8°C (35.6 - 46.4 °F)で冷蔵保管すること。

## ８．暴露防止及び保護措置

**管理濃度**

| 成分 | 日本産業衛生学会 | ACGIH |
|---|---|---|
| タルク | 0,5 mg/m3TWA<br>2 mg/m3TWA | 2 mg/m3 TWA |
| 鉄 | (blank) | (blank) |
| ビスフェノールA型エポキシ樹脂 | (blank) | (blank) |
| ガラス繊維 | (blank) | 10 mg/m3 TWA<br>3 mg/m3 TWA |
| 硬化剤 | (blank) | (blank) |
| アルミノケイ酸塩 | (blank) | (blank) |
| 2,4,6-<br>トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール | (blank) | (blank) |
| ジメチルシロキサン変性シリカ | (blank) | 10 mg/m3 TWA<br>3 mg/m3 TWA |
| シリカ(石英) | 0,03 mg/m3CEILING | 0,025 mg/m3 TWA |

**保護具**：

**呼吸用保護具:** 十分な換気を保つこと。
十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

**眼の保護具:** 安全ゴーグルまたは側板付き安全眼鏡

**皮膚及び身体の保護具:** 耐薬品性で、手袋とエプロンかボディースーツのどちらかを含む不浸透性衣類を着用し、皮膚接触を防止する。
ネオプレン、ブチルゴム、またはニトリルゴム製手袋

## ９．物理的及び化学的性質

形状： パテ
色: 金属の，黒
臭い: メルカプタン，硫黄
pH： 該当なし
融点/凝固点: 該当なし
沸点: 390 °C (734 °F)
引火点: 284 °C (543.2 °F)
自然発火温度: データ無し
爆発範囲（下限）： 該当なし
爆発範囲（上限）： 該当なし
蒸気圧: 未測定
蒸気密度： 該当なし
比重: 2,247
溶解度： 不溶性 溶剤: 水
n-オクタノール/水分配係数: データ無し

## １０．安定性及び反応性

**安定性：**

**化学的反応性:** 何も確認されていない。

**避けるべき条件** 熱、点火源および不適合物質に近づけないこと。
直射日光を避けること。

**危険有害な分解生成物：** 炭素酸化物
硫黄酸化物
ハロゲン化化合物
金属酸化物ヒューム

## １１．有害性情報

| 成分 | 危険有害性クラス | 危険有害性区分 | ばく露経路 | 標的臓器 | 出典: |
|---|---|---|---|---|---|
| ビスフェノールA型エポキシ樹脂 | 急性毒性 | 区分外 | 経口 | | NITE 04 2007 |
| | 急性毒性 | 分類対象外 | 吸入ーガス | | NITE 04 2007 |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 区分 2 - 刺激性 | | | NITE 04 2007 |
| | 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 区分2B | | | NITE 04 2007 |
| | 皮膚感作性 | 区分1 | | | NITE 04 2007 |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分外 | | | NITE 04 2007 |
| | 生殖毒性 | 区分外 | | | NITE 04 2007 |
| 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール | 急性毒性 | 区分4 | 経皮 | | NITE 03 2012 |
| | 急性毒性 | 分類対象外 | 吸入ーガス | | NITE 03 2012 |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 区分1C | | | NITE 03 2012 |
| | 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 区分 1 - 非可逆的作用 | | | NITE 03 2012 |
| | 急性毒性 | 区分4 | 経口 | | NITE 03 2012 |
| シリカ(石英) | 急性毒性 | 分類対象外 | 吸入ーガス | | NITE 04 2007 |
| | 急性毒性 | 分類対象外 | 吸入ー蒸気 | | NITE 04 2007 |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分外 | | | NITE 04 2007 |
| | 発がん性 | 区分1A | | | NITE 04 2007 |
| | 特定標的臓器毒性, 単回ばく露 | 区分1 | | 呼吸器系 | NITE 05 2009 |
| | 特定標的臓器毒性, 反復ばく露 | 区分1 | | 呼吸器系, 腎臓 | NITE 05 2009 |

**一般毒性情報:** 動物実験検査データなし。

## １２．環境影響情報

| 成分 | 危険有害性クラス | 危険有害性区分 | 出典: |
|---|---|---|---|
| ビスフェノールA型エポキシ樹脂 | 水生環境有害性(急性) | 区分1 | NITE 04 2007 |
| | 水生環境有害性(長期間) | 区分1 | NITE 04 2007 |

**一般環境有害性情報:** 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
水生生物に有害である。
水生環境に長期の可逆効果をもたらす恐れがある。

## １３．廃棄上の注意

**推奨廃棄方法:** 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

## １４．輸送上の注意

**一般情報**
RID, ADR, ADNR, IMDG, IATA-DGR において危険品ではない。

## １５．適用法令

**労安法：**
**名称等を通知すべき有害物**　シリカ(石英)

**消防法**
指定可燃物

**毒劇物法：** 該当しない

PRTR法： 該当しない

## １６．その他の情報

**発行日:** 14.03.2014

**問い合わせ先:** 近藤　由紀子、製品安全性及び規制業務担当

**注意：:** この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。
ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、
明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。
MSDSの内容に関するお問い合わせ　ヘンケルジャパン株式会社
製品安全性及び規制業務担当　横浜市磯子区新磯子町27-7　TEL:045-758-1780
FAX:045-758-1771